

コロナの影響薄まるも物価高騰で景気後退に歯止めかからず

一部業種で価格転嫁追いつかず採算が悪化

～景況 DI 値は、前年同月比2.7ポイント低下のマイナス21.0～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 2月鳥取県内の中小企業景況

売上(受注)高 製造業では、DI 値前月比21.0ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス15.8。非製造業では、前月比68.5ポイント上昇のプラス31.6、前年同月比5.3ポイント低下のプラス31.6。

販売(受注)価格 製造業では、DI 値前月比0.1ポイント上昇のプラス21.0、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス36.8。非製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比31.5ポイント低下のプラス21.0。

収益状況 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス31.5、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス63.2。非製造業では、前月比31.5ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント低下のプラス15.7。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比15.8ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス31.6。非製造業では、前月比15.8ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比同水準のプラス5.3。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比同水準のマイナス10.5。非製造業では、前月比10.5ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比21.1ポイント上昇のプラス10.6。

景況 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のマイナス42.1、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス42.1。非製造業では、前月比36.8ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比5.2ポイント上昇のプラスマイナス0。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比15.8ポイント上昇のマイナス18.4、前年同月比2.7ポイント低下のマイナス21.0となった。製造業では、多くの業種で電気代を中心とするエネルギーコストの増加が続いており、価格転嫁による収益確保も追いつかず厳しい景況が続いている。非製造業では、新型コロナウイルスの影響が薄まり、観光関連を中心に業況が好転した。小売関連では、物価の上昇により消費マインドが低下しており、状況は引き続き厳しい。県内景況は、電気料金や原材料価格の高騰が続くなか、建設関係を中心に受注の減少が深刻な問題となっている。物価高騰に伴う価格転嫁も十分ではなく、採算は悪化しており、景気後退に歯止めが掛からない状態が続いている。物価の上昇が進む一方で、人手不足の深刻化、最低賃金上昇による人件費増などさらなる経費増要因もあり、依然として先行き不透明な状況が続いている。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

2月の全国倒産は、件数574件で、前年同月を34.1%上回り、10カ月連続で前年同月比増加となった。負債総額は1,005億4,600万円（負債総額1,000万円以上）で、前年同月を28.8%上回り、2月としては4年ぶりの1,000億円超となった。不況型倒産の構成比は78.5%（対前年同月0.7ポイント減）を占めた。

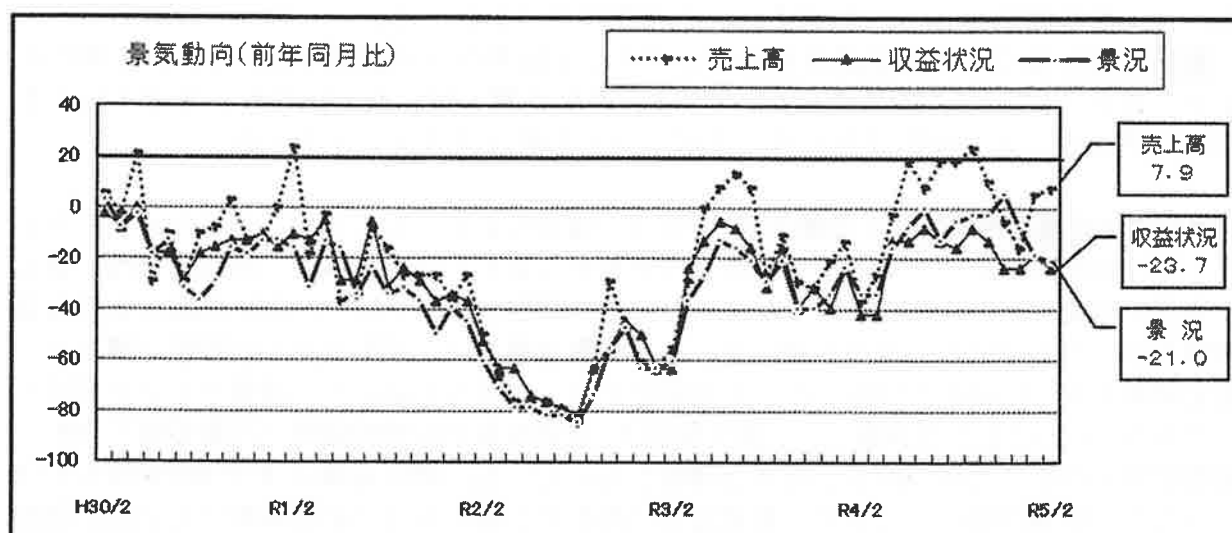
一方、2月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数2件（前月0件）、負債総額は9億3,000万円（前月0円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報1月分」）

鳥取県の1月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.54倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.35倍）で、前月より0.03ポイント低下。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.42倍、米子所1.73倍、倉吉所1.99倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.68倍（季節調整値）で、前月より0.20ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比2.1%減少し、有効求人数は3.4%増加となった。産業別に前年同月と比較すると、宿泊業・飲食サービス業（7.9%）、卸売業・小売業（0.8%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比5.3%減少、有効求職者数は前年同月比3.0%減少となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.62倍で、前年同月を0.10ポイント上回った。新規求人数は前年同月を0.6%下回った。



2月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	26.3%	-10.5 21.0	42.1%	10.5%	31.6 68.5	28.9%	18.4%	10.5 44.7
(2) 在庫数量	10.5%	10.5%	0.0 -5.2	8.3%	0.0%	8.3 -0.1	9.7%	6.5%	3.2 -3.2
(3) 販売価格	26.3%	5.3%	21.0 0.1	21.1%	5.3%	15.8 5.2	23.7%	5.3%	18.4 2.6
(4) 取引条件	0.0%	10.5%	-10.5 -5.2	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	0.0%	7.9%	-7.9 -2.6
(5) 収益状況	5.3%	36.8%	-31.5 0.0	15.8%	15.8%	0.0 31.5	10.5%	26.3%	-15.8 15.8
(6) 資金繰り	0.0%	21.1%	-21.1 -15.8	5.3%	5.3%	0.0 15.8	2.6%	13.2%	-10.6 0.1
(7) 設備操業度	15.8%	21.1%	-5.3 0.0						
(8) 雇用人員	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	0.0%	5.3%	-5.3 10.5	0.0%	5.3%	-5.3 7.9
(9) 景 況	0.0%	42.1%	-42.1 -5.3	15.8%	10.5%	5.3 36.8	7.9%	26.3%	-18.4 15.8

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	31.6%	-15.8 10.5	47.4%	15.8%	31.6 -5.3	31.6%	23.7%	7.9 2.6
(2) 在庫数量	10.5%	10.5%	0.0 -10.5	16.7%	0.0%	16.7 0.0	12.9%	6.5%	6.4 -6.4
(3) 販売価格	42.1%	5.3%	36.8 5.3	36.8%	15.8%	21.0 -31.5	39.5%	10.5%	29.0 -13.2
(4) 取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 -0.1	5.3%	21.1%	-15.8 -10.5	5.3%	15.8%	-10.5 -5.2
(5) 収益状況	0.0%	63.2%	-63.2 -5.3	36.8%	21.1%	15.7 -5.3	18.4%	42.1%	-23.7 -5.3
(6) 資金繰り	0.0%	31.6%	-31.6 -15.8	21.1%	15.8%	5.3 0.0	10.5%	23.7%	-13.2 -7.9
(7) 設備操業度	15.8%	36.8%	-21.0 36.9						
(8) 雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	21.1%	10.5%	10.6 21.1	10.5%	10.5%	0.0 10.5
(9) 景 況	0.0%	42.1%	-42.1 -10.5	26.3%	26.3%	0.0 5.2	13.2%	34.2%	-21.0 -2.7

*D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料費（卵、粉類等）、エネルギー（LP ガス、電気等）価格の上昇、高止まりにより収益が圧迫されている。製品の値上げを試みるも、諸経費の値上がりにより大変厳しい状況が続いている。

醤 油⇒ 味噌・醤油ともに販売価格は上昇してきているが、原材料費、燃料費、人件費の増加分を吸収できておらず、値上げにより販売数量は減少している。業界全体としては、国内の不振を輸出がカバーしている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 小規模で活動していた事業所が高齢化等の理由により多数廃業している。光熱費等の高騰に伴う価格転嫁も困難で、厳しい状況が続く。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため、売上高は減少傾向となっている。

ニット製品⇒ 学生服、ユニフォームは生産工場が少なくなっているため、納期に追われている。一般衣料品については受注、生産状況は低調に推移している。原材料のコスト、人件費、電気代等に対する価格転嫁は難しく、厳しい景況が続いている。

【家具装備品】

⇒ 売上高は前月比、前年同月比ともに不変。販売価格は前月比、前年同月比ともに上昇しており、物価高の影響が続いている。業況は依然として厳しい。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で減少。合板の生産量は前月と同水準で推移した。積雪の影響により丸太の出材量は少なく、高値で取引されている。プレカット加工の稼働率は、前月比40%減少、前年同月比30%減少となった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 年度替わりに伴う需要が落ち着きを見せている。前年同月比で販売価格は上昇し、売上も増加したが、すべてを価格転嫁できていないため収益状況は横ばいとなった。新学期の始まりに向け、需要増に期待が持たれる。

【印 刷】

⇒ 官公庁関係の受注が増え、稼働率が上がり印刷工程に空きのない状況も見られるが、民間からの受注については業種によりばらつきがあり、総じて伸び悩んでいる。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 2月の生コン出荷量は、前月比で43%増加、前年同月比も8%増加となった。年度末の駆け込み需要もなく、全体的に引き合いは低調。セメント価格の値上げ、燃料費高騰が収益を圧迫しており、生コン価格への転嫁に苦慮している。こうしたなか若手人材の確保が課題となっている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内では西部に大型案件が続くものの、東部は少なく、県外物件を受注できている事業所は多忙となっている。見積の案件はあるものの、鋼材等資材価格の上昇によりキャンセルや延期の物件も見受けられる。機械加工は、産業機械、弱電関係での受注が増えつつある。自動車関係は依然減産が続いているが、緩やかながらに回復基調にある。人手不足が深刻化している上、最低賃金上昇による人件費増に加え、光熱費等高騰の影響により収益を圧迫している。

鉄骨加工⇒ 物件量はあるものの、ゼネコンの契約金額が資材高騰以上のレベルになっておらず、専門業者への発注金額が低いため利益が確保できない厳しい状況が続いている。また、売上を確保したい工場は安価での受注を続けている事も単価下落の要因となっており、収益性は低下している。

金属熱処理⇒ 前月に比べ若干持ち直した感はあるものの、状況は依然として厳しく、前年同月比も状況は変わっていない。コロナの影響による半導体不足やその他の影響により自動車、建機、産業機械関係も状況は低迷している。受注量が低迷している中で資材関係、特に電気料金の上昇は死活問題となっている。

【電気機械器具】

⇒ 新型コロナの影響は緩和されつつあり、受注は徐々に回復傾向にあるものの、依然として原材料確保の問題が継続している。人員不足のため残業が発生している上に、部材状況に左右され生産計画が安定しない。必要経費の高騰が続くなか、価格転嫁をすべて行うことは困難なため、収益確保は厳しい状況となっている。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、取扱数量は前年同月比でわずかに増加したが、単価の低下により売上高は減少した。前月比では、売上高、取扱数量とも増加している。鮮魚関係では、前月比で売上高、取扱数量とも大きく増加した。前年同月比では、荒天が少なく取扱数量が増加した。売上高は単価が上昇していることにより、大きく増加した。物価高に伴う大企業を中心とした給与改定に追随を図りたいが原資が確保できないなど、物価高騰をきっかけとする問題が山積している。

中部地区⇒ 燃料費や電気代等の物価の高騰により資金繰りに苦慮している。販売価格は前年同月比で上昇し、売上高も増加したものの、物価高騰により収益状況は悪化した。

西部地区⇒ 10月、11月からの食料品、消耗品等の値上げによる影響や電気料金の高騰などもあり、個人の実質手取り額低下が懸念される。

水産物⇒ 巻き網は時化の多い月ではあったが2月上旬に小型サバ、下旬にマイワシの豊漁が続き前年同月比で倍増の水揚げ量になった。サバについては、缶詰、加工用として浜高であり、イワシについては他地域の水揚げもあり同水準の相場で推移した。近海物については時化の影響もあり松葉ガニ、カレイ類とも例年に比べ不漁であった。紅ズワイガニは、昨年より水揚げは3割程度増加し、輸入ガニが安価となったことから、落ち着いた浜値となった。

リサイクル原料⇒ 価格動向については前月比で横ばい、前年同月比で低下となった。一部商品に値下げが見られたものの、大きな値下げとはならなかった。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取の商店街では、街区飲食店を対象とした、鳥取県安心対策エリア応援お食事クーポンは3月20日まで継続実施しており、利用客には好評で飲食店舗に一定の効果が見られている。4月以降の新年度にはコロナ禍で中止していた様々なイベントが再始動する予定となっており、街区・まちなかへの誘客が期待される。引き続き食品、生活用品、電気、水道、燃料の値上げラッシュが続き、一段と消費意欲が減退している。小売業は、天候不順などにより高齢者を中心に外出を控える傾向にあり消費が鈍っている。宿泊関係は全日旅行支援などの効果で賑わいを見せている。飲食店は振興券などで繋いでいるが、依然として厳しい状況が続いている。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、感染状況は落ち着きを見せているものの、人流が戻ってこない状況が続いている。プレミアム付き食事券を発行し、飲食店には一定の効果が見られたが、物販の店への波及効果が見られなかった。倉吉出身の力士、落合関の後援会発足をきっかけに、春場所後には各種イベントを企画している。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、2月中旬から月末までの間、米子商工会議所と協力し、商店街全体の魅力向上に向けた実証実験「イルミネーションコンテスト」を実施。期間中は夜の時間に人通りが増えるなど効果が見られた。

境港市の水産物小売では、売上高、収益状況ともに前月比は同水準で推移した。コロナの影響は薄れてきており、経済が戻りつつある。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、年間で入込数が一番落ち込む時期であるが、例年より降雪量が少なく気温が高かったことと、旅行支援の影響により一般観光客、バスツアーともに好調で入込数が増加した。売上高は前月比、前年同月比ともに増加となった。

米子市のホテル・旅館では、コロナの影響も改善してきており、降雪も少なく前年比では宿泊客数が増加し、売上高も増加した。前年同月比では前年の営業日数が極めて少なかったことから宿泊・日帰り日数が増加したため売上高は増加し、収益状況も好転した。業界全体では全国旅行支援の効果もあり、コロナも減少傾向にあることから、景況は回復の兆しが伺える。

三朝温泉では、2月上旬まで降雪等の影響によりキャンセルが出る旅館も見られた。2月中旬から3月にかけて個人旅行者を中心に順調に予約が入っている。インバウンドも徐々に増え始めている。大型の旅館を中心に電気料金高騰の影響が出ている。

羽合温泉では、想定より全国旅行支援の効果が少なく、予約が伸び悩んでいる。売上高は前月比で同水準、前年同月比で増加した。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を合わせて2,263台で前月比が10%増加、前年同月比は21%増加となった。中古車は513台で前月比が29%増加、前年同月比は8%減少となった。継続検査（軽自動車を含む）は16,900台で前月比が32%増加、前年同月比は約10%の増加となった。新

車の供給が戻りつつある半面、中古車に関しては先の読めない状況。継続検査は年度末に向けて増加傾向となっている。

【建設業】

⇒ 1月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額18億円(前年同月比17.6%減)、件数39件(前年同月比47.3%減)となった。年度累計(令和4年4月～令和5年1月)は、請負金額638億円(前年同月比23.8%減)、件数1,385件(前年同月比8.3%減)となった。住宅投資は、持家関係が上振れ全体として前年同月比プラスとなるも、設備投資と公共投資は引き続き低調な動きとなっている。公共工事の受注減や技術者等の人材不足に加え、建設資材やエネルギー価格の高騰に伴うコスト増に見合う価格転嫁も十分でなく、収益性は悪化している。

1月の鳥取県新設住宅着工戸数は192戸(持家184戸、貸家8戸)で、前月比4%増加、前年同月比33%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 2月の物流は、製造業の一部で生産調整が継続しており、出荷量は概ね横ばいで推移し、全般に荷動きは低調な状況が続いている。復路荷物の情報量は増加しているが、県内への荷物の減少が慢性化しており空車で帰る車両も見られ、効率の悪い運行が続いている。売上は前月比で同水準、前年同月比で減少となった。燃料価格の高値が引き続き収益に影響を与えるなど、厳しい状況が続いている。

西部地区⇒ 燃料価格については、2月は若干価格低下となったものの、依然高止まり状態に変わりなく厳しい状況が続いている。ドライバーの慢性的な人員不足、さらには2024年問題と業界を取り巻く問題が山積している。新型コロナウイルス感染者数が落ち着きを見せ、受注増の傾向はみられるものの、依然として厳しい業況が続く。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・過去に例を見ないほど新規工事が少なく、立ち行かない工場が出てくる恐れもあるため早急に対応を求める。【生コンクリート製造業】
- ・共同受電事業の特別高圧は国の特別措置から除外されているので早急に見直しを求める。【一般機器製造業】
- ・電力費の負担に対する十分な補助を求める。【金属熱処理業】
- ・4月からの電気料金改定による経費負担増に対応する施策を求める。【卸売業】
- ・エネルギー高騰や人材確保、外国人材確保のための住居等対策を求める【電子部品製造業】
- ・県民、市民のニーズをとらえた支援とするため、業種に偏りなくプレミアム商品券の発行を行って欲しい。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】
- ・観光業への支援の継続を望む。【旅館業】
- ・旅行支援終了後も代わりとなる支援を望む。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との 増減幅
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
売 上 高	製 造 業	5.3	26.3	-36.8	-21.0	0.0	10.5	-21.0	21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-31.5	-10.5	-15.8
	非製造業	-31.6	52.6	10.6	21.1	10.5	0.0	0.0	-5.3	15.7	26.3	-10.5	-36.9	31.6	63.2
	全 業 種	-13.2	39.4	-13.2	-5.2	5.3	5.2	-10.5	7.9	2.6	5.3	-10.5	-34.2	10.5	23.7
在庫数量	製 造 業	5.2	10.3	0.0	10.5	15.8	21.1	5.2	5.2	-5.2	0.0	-10.5	5.2	0.0	-5.2
	非製造業	-8.3	25.0	-8.3	8.4	8.4	0.0	-8.3	-8.4	8.4	8.4	8.3	8.4	8.3	16.6
	全 業 種	0.0	16.2	-3.2	9.7	12.9	12.9	0.0	0.0	0.0	-3.2	-3.2	6.4	3.2	3.2
販売価格	製 造 業	10.5	15.8	15.8	26.3	15.8	26.3	26.3	21.1	21.1	26.3	26.3	21.0	21.1	10.6
	非製造業	-10.5	10.5	15.8	26.3	26.3	36.8	26.3	5.3	31.5	42.1	26.3	10.6	15.8	26.3
	全 業 種	0.0	13.2	15.8	26.3	21.1	31.6	26.3	13.2	26.3	34.2	26.3	15.8	18.4	18.4
取引条件	製 造 業	-5.3	-5.3	-15.8	-15.8	-5.2	5.2	0.0	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	-5.2
	非製造業	-10.5	0.0	5.3	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	0.0	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	5.2
	全 業 種	-7.9	-2.6	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-7.9	-5.3	-5.3	-7.9	0.0
収益状況	製 造 業	-15.8	-15.8	-42.1	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-26.3	-36.8	-26.3	-31.6	-31.6	-15.8
	非製造業	-31.6	26.3	-5.3	-10.5	-15.7	-15.8	-5.2	-15.8	10.5	15.8	-5.3	-31.5	0.0	31.6
	全 業 種	-23.7	5.3	-23.7	-23.6	-15.8	-15.8	-15.8	-15.7	-7.9	-10.5	-15.8	-31.6	-15.8	7.9
資金繰り	製 造 業	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	-5.3	-5.2	-21.1	-5.3
	非製造業	-31.5	-10.5	-5.3	5.3	-15.8	0.0	0.0	-21.1	10.5	15.8	-15.8	-15.8	0.0	31.5
	全 業 種	-23.7	-10.5	-7.9	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	-15.8	2.6	2.6	-10.5	-10.6	-10.5	13.2
設備操業度	製 造 業	5.3	5.3	-15.8	-10.6	5.3	5.3	-10.6	0.0	-10.6	10.5	-21.1	-5.3	-5.3	-10.6
雇用人員	製 造 業	-5.3	0.0	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.5	-5.3	0.0
	非製造業	-15.8	5.2	15.8	21.1	0.0	0.0	15.8	-5.3	5.3	0.0	-5.3	-15.8	-5.3	10.5
	全 業 種	-10.6	2.6	2.6	7.9	-2.7	-2.6	7.9	-2.6	-2.6	0.0	-2.6	-13.2	-5.3	5.3
景 況	製 造 業	-15.8	-21.0	-26.3	-21.0	-15.8	-10.5	-1.5	-26.3	-36.8	-31.5	-26.3	-36.8	-42.1	-26.3
	非製造業	-52.6	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	5.2	-26.3	0.0	15.8	0.0	-31.5	5.3	57.9
	全 業 種	-34.2	-15.7	-21.1	-15.7	-15.8	-15.7	-2.6	-26.3	-18.4	-7.9	-13.2	-34.2	-18.4	15.8

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との増減幅
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
売上高	製造業	-21.0	-31.6	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	5.3	0.0	-5.3	-10.5	-36.8	-26.3	-15.8	5.2
	非製造業	-52.6	-21.1	26.3	57.9	26.3	31.6	31.5	47.4	26.4	0.0	5.3	36.9	31.6	84.2
	全業種	-36.8	-26.3	-2.6	18.4	7.9	18.4	18.4	23.6	10.5	-5.3	-15.8	5.3	7.9	44.7
在庫数量	製造業	5.2	5.3	-5.3	5.2	15.8	10.6	21.1	21.1	15.8	10.5	5.3	10.5	0.0	-5.2
	非製造業	-25.0	-8.4	16.7	33.3	25.0	16.7	25.0	-16.7	0.0	-16.7	8.3	16.7	16.7	41.7
	全業種	-6.4	0.0	3.2	16.2	19.3	12.9	22.6	6.4	9.6	0.0	6.5	12.9	6.5	12.9
販売価格	製造業	21.1	26.3	21.1	42.1	31.6	42.1	42.1	47.4	47.4	57.9	47.4	31.5	36.8	15.7
	非製造業	10.6	21.0	31.6	26.3	36.8	42.1	42.1	36.9	36.8	10.5	42.1	52.6	21.1	10.5
	全業種	15.8	23.7	26.3	34.2	34.2	42.1	42.1	42.1	42.1	34.2	44.7	42.1	28.9	13.1
取引条件	製造業	-15.8	-5.2	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0	-5.2	-15.8	0.0	0.0	-5.2	-5.3	10.5
	非製造業	-10.5	-5.3	5.3	-5.3	-5.3	5.3	-15.8	-5.3	5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-15.8	-5.3
	全業種	-13.2	-5.3	-7.9	-13.2	-5.3	2.7	-7.9	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	2.7
収益状況	製造業	-31.5	-47.4	-42.1	-31.6	-21.0	-31.6	-36.8	-36.9	-47.3	-42.1	-42.1	-57.9	-63.2	-31.7
	非製造業	-52.6	-36.9	15.7	5.3	5.3	5.3	5.3	21.0	21.0	-5.3	-5.3	21.1	15.8	68.4
	全業種	-42.1	-42.1	-13.2	-13.1	-7.9	-13.1	-15.8	-7.9	-13.1	-23.7	-23.7	-18.4	-23.7	18.4
資金繰り	製造業	-21.1	-21.1	-15.8	-15.8	-10.5	-21.1	-10.5	-5.3	-26.3	-10.5	-10.5	-15.8	-31.6	-10.5
	非製造業	-31.5	-26.3	0.0	-5.3	10.6	-5.3	-10.5	10.6	15.8	5.3	-5.3	5.3	5.3	36.8
	全業種	-26.3	-23.7	-7.9	-10.5	0.0	-13.2	-10.5	2.6	-5.2	-2.7	-7.9	-5.3	-13.2	13.1
設備操業度	製造業	-10.5	-21.0	-21.1	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	21.1	31.6
雇用人員	製造業	-10.5	-5.2	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	-10.5	-10.5	0.0
	非製造業	-21.1	-15.8	10.6	10.6	-5.3	-10.6	0.0	-5.3	0.0	-5.2	-15.8	-10.6	10.5	31.6
	全業種	-15.8	-10.6	0.0	2.6	-5.2	-7.9	-2.6	-5.3	-5.2	-2.6	-5.3	-10.5	0.0	15.8
景況	製造業	-31.6	-31.5	-21.0	-15.8	-10.5	-21.0	-15.8	-15.8	-21.0	-10.5	-21.1	-31.6	-42.1	-10.5
	非製造業	-36.8	-36.9	-10.5	0.0	10.5	-5.3	5.3	10.5	15.8	21.1	5.3	-5.2	0.0	36.8
	全業種	-34.2	-34.2	-15.7	-7.9	0.0	-13.1	-5.2	-2.6	-27.0	5.3	-7.9	-18.4	-21.1	13.1

情報連絡員報告総括表(令和5年2月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	2	0	1	0	1	0	0	2	1	0	1	0	1	1	0	0	2
繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	3	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	0	3	0	0	2	1
木材・木製品	0	2	2	0	3	1	1	3	0	0	3	1	0	1	3	0	3	1	0	2	2	0	4	0	0	1	3
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0
一般機器	1	1	1	0	3	0	2	1	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	3	11	5	2	15	2	5	13	1	0	17	2	1	11	7	0	15	4	3	12	4	0	18	1	0	11	8
100%	15.8%	57.9%	26.3%	10.5%	78.9%	10.5%	26.3%	68.4%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	57.9%	36.8%	0.0%	78.9%	21.1%	15.8%	63.2%	21.1%	0.0%	94.7%	5.3%	0.0%	57.9%	42.1%
卸売業	2	3	1	1	5	0	3	3	0	0	6	0	0	5	1	0	6	0				0	6	0	1	5	0
小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
商店街	1	3	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	3	1	0	4	0				0	3	1	0	3	1
サービス業	4	1	0				0	4	1	0	4	1	3	2	0	1	4	0				0	5	0	2	3	0
建設業	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1
運輸業	1	1	0				0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0
その他																											
19	8	9	2	1	10	0	4	14	1	0	18	1	3	13	3	1	17	1				0	18	1	3	14	2
100%	42.1%	47.4%	10.5%	8.3%	83.3%	0.0%	21.1%	73.7%	5.3%	0.0%	94.7%	5.3%	15.8%	68.4%	15.8%	5.3%	89.5%	5.3%				0.0%	94.7%	5.3%	15.8%	73.7%	10.5%
38	11	20	7	3	25	2	9	27	2	0	35	3	4	24	10	1	32	5	3	12	4	0	36	2	3	25	10
100%	28.9%	52.6%	18.4%	9.7%	80.6%	6.5%	23.7%	71.1%	5.3%	0.0%	92.1%	7.9%	10.5%	63.2%	26.3%	2.6%	84.2%	13.2%	15.8%	63.2%	21.1%	0.0%	94.7%	5.3%	7.9%	65.8%	26.3%

情報連絡員報告総括表(令和5年2月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	0	0	2	1	0	1	2	0	0	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2
	繊維工業	0	1	2	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	1	2	0	2	1	0	3	0
	木材・木製品	0	2	2	0	3	1	1	3	0	0	3	1	0	1	3	0	3	1	0	2	2	0	4	0	0	1	3
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0
	出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	2	0	1	1	0	2	0	0	2	0
化学工業	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
	鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1
	一般機器	1	2	0	0	3	0	2	1	0	0	2	1	0	1	2	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	1	2
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	輸送用機器																											
その他																												
	19	3	10	6	2	15	2	8	10	1	1	16	2	0	7	12	0	13	6	3	9	7	0	17	2	0	11	8
	100%	15.8%	52.6%	31.6%	10.5%	78.9%	10.5%	42.1%	52.6%	5.3%	5.3%	84.2%	10.5%	0.0%	36.8%	63.2%	0.0%	68.4%	31.6%	15.8%	47.4%	36.8%	0.0%	89.5%	10.5%	0.0%	57.9%	42.1%
	卸売業	2	3	1	1	5	0	3	1	2	0	5	1	1	4	1	0	6	0				1	5	0	1	4	1
	小売業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0				1	0	0	1	0	0
非製造業	商店街	2	1	1	0	4	0	1	3	0	0	3	1	0	3	1	0	3	1				0	2	2	0	2	2
	サービス業	4	1	0				2	2	1	1	3	1	5	0	0	3	2	0				2	3	0	3	2	0
	建設業	0	0	1				1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1
	運輸業	0	2	0				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	2	0	0	1	1
	その他																											
その他	19	9	7	3	2	9	0	7	9	3	1	14	4	7	8	4	4	12	3				4	13	2	5	9	5
	100%	47.4%	36.8%	15.8%	16.7%	75.0%	0.0%	36.8%	47.4%	15.8%	5.3%	73.7%	21.1%	36.8%	42.1%	21.1%	21.1%	63.2%	15.8%				21.1%	68.4%	10.5%	26.3%	47.4%	26.3%
	38	12	17	9	4	24	2	15	19	4	2	30	6	7	15	16	4	25	9	3	9	7	4	30	4	5	20	13
	100%	31.6%	44.7%	23.7%	12.9%	77.4%	6.5%	39.5%	50.0%	10.5%	5.3%	78.9%	15.8%	18.4%	39.5%	42.1%	10.5%	65.8%	23.7%	15.8%	47.4%	36.8%	10.5%	78.9%	10.5%	13.2%	52.6%	34.2%

